

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	冠攣縮性狭心症患者の予後に与える因子の検討		
2. 対象患者	冠攣縮性狭心症の疑いとして当科外来を受診、あるいは入院した方を対象とします		
3. 対象となる期間	2000年1月1日 ~ 2024年12月31日		
4. 実施診療科等	循環器内科、腎臓内科		
5. 研究責任者	氏名	花田 賢二	所属 循環器内科、腎臓内科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	冠攣縮性狭心症は日本人に多い疾患で、典型的には朝方の胸の痛みを主訴とし、時に若年性の突然死の原因となります。治療薬により症状が改善することが多いのですが、治療薬の効果が十分でない患者様も少なからず存在し、対症療法であるため内服薬を中断すると再発し、また病因も未だ解明されていません。本研究によって、冠攣縮性狭心症の患者様の治療薬の効果の予測や、その後の経過に与える因子が明らかとなれば、患者様個人に応じた治療や危険性を把握することができ、診療に有用と考えられます。		
8. 研究の目的	患者様の採血データや処方、背景、心臓カテーテル検査の所見などから冠攣縮性狭心症の患者様の治療薬の効果の予測や、その後の経過に与える要因を見出し、今後の診療に役立てることを目的とします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	患者様の診療記録から採血データや処方、背景、心臓カテーテル検査の所見などのデータを収集し解析します。また治療後の経過については、他医療機関へ紹介となった場合には、その医療機関へ問い合わせる情報を得るか、あるいは患者様、患者様のご家族に直接連絡して情報を得ることもあります。		
10. 個人情報の保護	本研究は対象となる患者様の診療記録からえられた情報を用いますが、氏名・住所・電話番号等個人を特定できる情報は利用しません。学会発表や論文とする際も、個人が特定できない形での使用となります。対象者から拒否の申し出があった場合、当該患者様のデータは使用しません。ただし、拒否の申し出があった時点で既に学会発表や論文投稿等の成果が公表されていた場合は、その結果を修正することはできません。		
11. 利益相反に関する状況	利益相反状態にはありません。本研究は診療記録から得られる情報、および治療後の経過の調査を用いて行われるため、費用は発生しません。また関連する企業はなく、公正に実施されます。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 循環器内科、腎臓内科 助教 花田賢二		
	電話	0172-39-5057	FAX 0172-35-9190